



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東  
 コード番号 4310 URL <https://www.dreamincubator.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 孝之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ長 (氏名) 岩佐 将誠 TEL 03(5532)3200  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月22日 配当支払開始予定日 2026年6月8日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,691	40.6	1,790	595.6	1,872	529.0	1,593	835.8
2025年3月期	6,183	15.0	257	—	297	—	170	—

(注) 包括利益 2026年3月期 1,703百万円 (878.6%) 2025年3月期 174百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	181.41	—	13.0	11.9	20.6
2025年3月期	19.39	—	1.2	1.8	4.2

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,633	11,738	74.0	1,323.87
2025年3月期	15,857	13,158	82.1	1,479.24

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,568百万円 2025年3月期 13,014百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,576	△1,122	△3,143	3,858
2025年3月期	1,230	346	△2,270	5,539

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	106.00	0.00	317.00	423.00	4,001	2,181.5	26.5
2026年3月期	0.00	0.00	0.00	137.00	137.00	1,306	75.5	9.7
2027年3月期(予想)	0.00	0.00	0.00	137.00	137.00		—	

(注) 2025年3月期第2四半期(中間期)末配当金の内訳：特別配当 106円00銭

2025年3月期期末配当金の内訳：特別配当 317円00銭

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

当社グループのセグメントは、ビジネスプロデュース及びベンチャー投資から構成されております。ビジネスプロデュースは比較的将来の予測が立ちやすい一方、ベンチャー投資につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するために有用と思われる情報を、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況 ②今後の見通し」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	9,534,316株	2025年3月期	9,534,316株
2026年3月期	795,616株	2025年3月期	735,950株
2026年3月期	8,786,321株	2025年3月期	8,784,512株

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,379	44.1	2,052	733.8	2,118	476.9	1,825	458.2
2025年3月期	5,813	16.3	246	—	367	—	327	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	207.82	—
2025年3月期	37.24	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年3月期	17,405		12,382		71.1		1,417.01	
2025年3月期	17,146		13,697		79.9		1,556.85	

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,382百万円 2025年3月期 13,697百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている次期の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。次期の見通しの前提となる条件及び次期の見通しのご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

・当社は、2026年5月15日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①当期の経営成績

当社及び当社グループの当連結会計年度における経営成績は、売上高は8,691百万円と前年同期に比べ2,507百万円(+40.6%)の増収、経常利益は1,872百万円と前年同期に比べ1,574百万円(前年同期比529.0%増)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益1,593百万円と前年同期に比べ1,423百万円(前年同期比835.8%増)の増益となりました。当連結会計年度における経営成績と前期実績との差異が生じた理由は、ビジネスプロデュースセグメントにおける受注拡大とベンチャー投資セグメントにおけるトレードセールにより売上高が増加したことなどであり、なお、個別業績の前期実績との差異が生じた理由についても同様であります。

当連結会計年度における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

#### (ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントでは、主に大企業向けの事業創造支援や成長戦略立案支援に関する戦略コンサルティング、M&Aファイナンシャル・アドバイザーの提供、及びソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用したファンド運営をしております。また、昨今はこれまで主戦場であった「新規事業の創造」だけでなく「既存事業の変革」まで支援領域を拡大し、クライアントの包括支援を本格化しております。

これまでのサービスラインの拡張、採用人材の戦力化による収益基盤の着実な拡大、及びクライアントニーズの高まりを背景に、既存顧客からの継続的な受注を順調に獲得できており、売上高の伸長は業容拡大に伴う費用増加を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は6,787百万円(前年同期は5,455百万円)、セグメント利益(営業利益)は1,967百万円(前年同期は1,054百万円)となりました。

#### (ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、スタートアップ企業等への投資育成を行っております。

当連結会計年度においては、トレードセール3件によるキャピタルゲインの実現があり、さらに出資先ファンドでの収益計上と評価損計上がありました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,904百万円(前年同期は728百万円)、セグメント利益(営業利益)は982百万円(前年同期は293百万円)となりました。

#### ②今後の見通し

#### (ビジネスプロデュースセグメント)

ビジネスプロデュースセグメントにおいては、①事業創造支援の高度化・進化、②顧客コミットの強化による多様なニーズへの対応、③デジタル・IT領域への支援拡張、④グローバル展開の支援・インバウンドビジネス支援などを着実に推進し、収益基盤を拡大してまいります。あわせてAIの急速な進化を踏まえた採用・育成の強化に取り組み、高収益性を継続創出する体制の構築を図ってまいります。これらの取り組みを受けて、ビジネスプロデュースセグメントの売上高は2027年3月期に75億円を計画しており、2030年3月期まで年平均15%の成長を目指します。なお、計画の詳細については決算説明資料もあわせてご参照ください。

#### (ベンチャー投資セグメント)

ベンチャー投資セグメントにおいては、業績が株式市況等に伴い振幅することから、将来業績の予想は開示しておりません。なお、ベンチャー投資は簿価を上回る含み益を抱えており、引き続き適切なタイミングでの売却を進めてまいります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産残高は15,633百万円(前連結会計年度末は15,857百万円)となり、前連結会計年度末と比較して224百万円減少しました。これは主に、配当金の支出により現金及び預金が増加したことによるものです。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債残高は3,895百万円(前連結会計年度末は2,699百万円)となり、前連結会計年度末と比較して1,195百万円増加しました。これは主に、当期純利益が増加したことに伴い未払法人税等が増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産残高は11,738百万円（前連結会計年度末は13,158百万円）となり、前連結会計年度末と比較して1,420百万円減少しました。これは主に、配当金の支出による利益剰余金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首と比較して1,681百万円減少し、3,858百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,576百万円の収入（前連結会計年度は1,230百万円の収入）となりました。これは主に、ビジネスプロデュースにおける業績が堅調に推移したことに加え、ベンチャー投資セグメントにおけるトレードセール及びファンドの分配が生じたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,122百万円の支出（前連結会計年度は346百万円の収入）となりました。これは主に、有価証券（合同運用指定金銭信託及び国債）の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、3,143百万円の支出（前連結会計年度は2,270百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率	29.1%	68.5%	86.2%	82.1%	74.0%
時価ベースの 自己資本比率	78.4%	92.1%	160.8%	164.7%	158.6%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	40.7%	1.4%	－%	－%	－%
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	585.3倍	484.6倍	－倍	－倍	－倍

(注) 1 各指標は以下の方法により算定しております。

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産  
※株式時価総額は、期末株価終値に期末発行済株式数を乗じて算定しております。
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業活動によるキャッシュ・フロー／利払い

- 2 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としています。
- 3 2024年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。
- 4 2025年3月期及び2026年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債がないため、記載しておりません。
- 5 2025年3月期及び2026年3月期のインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、利払いがないため、記載しておりません。
- 6 「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を2025年3月期の期首から適用しており、2024年3月期に係る各指標については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主への利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、各期の経営成績、財政状態及び将来の投資原資を総合的に勘案しながら、適切な利益配分を実施していく方針であります。

2026年3月期の期末配当（普通配当）は総額13億円（1株あたり137円00銭）を実施いたします。

また、2027年3月期の予想配当は期末配当（普通配当）で総額13億円（1株あたり137円00銭）とし、以降も安定した株主還元を継続してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国株主比率の推移及び国内の同業他社の国際財務報告基準の適用動向等を踏まえ、国際財務報告基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,659	3,967
受取手形、売掛金及び契約資産	1,576	1,732
営業投資有価証券	2,812	2,905
有価証券	5,000	5,995
投資損失引当金	△103	△103
未収入金	0	6
その他	512	645
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	15,428	15,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	283	290
減価償却累計額	△129	△146
建物及び構築物（純額）	153	144
その他	186	265
減価償却累計額	△133	△168
その他（純額）	52	97
有形固定資産合計	206	241
無形固定資産		
ソフトウェア	4	2
その他	0	0
無形固定資産合計	4	2
投資その他の資産		
投資有価証券	65	65
その他	152	202
投資その他の資産合計	217	267
固定資産合計	429	512
資産合計	15,857	15,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	280	424
未払費用	250	786
未払法人税等	93	309
株主優待引当金	29	35
役員賞与引当金	33	165
その他	587	734
流動負債合計	1,275	2,455
固定負債		
繰延税金負債	274	202
株式給付引当金	1,148	1,232
その他	—	3
固定負債合計	1,423	1,439
負債合計	2,699	3,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,019	5,019
資本剰余金	2,009	2,007
利益剰余金	6,738	5,318
自己株式	△1,497	△1,638
株主資本合計	12,270	10,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	875
為替換算調整勘定	△21	△13
その他の包括利益累計額合計	743	861
非支配株主持分	143	169
純資産合計	13,158	11,738
負債純資産合計	15,857	15,633

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,183	8,691
売上原価	3,253	4,080
売上総利益	2,930	4,610
販売費及び一般管理費	2,672	2,820
営業利益	257	1,790
営業外収益		
受取利息	27	46
補助金収入	—	29
為替差益	7	—
その他	6	12
営業外収益合計	40	88
営業外費用		
為替差損	—	6
その他	0	0
営業外費用合計	0	6
経常利益	297	1,872
税金等調整前当期純利益	297	1,872
法人税、住民税及び事業税	59	383
法人税等調整額	1	△98
法人税等合計	60	284
当期純利益	237	1,587
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	66	△6
親会社株主に帰属する当期純利益	170	1,593

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	237	1,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	107
為替換算調整勘定	△20	8
その他の包括利益合計	△62	115
包括利益	174	1,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	111	1,711
非支配株主に係る包括利益	63	△8

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,019	4,548	8,826	△4,155	14,239
当期変動額					
剰余金の配当			△2,213		△2,213
親会社株主に帰属する当期純利益			170		170
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				74	74
自己株式の消却		△2,539	△44	2,583	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,539	△2,087	2,658	△1,968
当期末残高	5,019	2,009	6,738	△1,497	12,270

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	804	△1	803	165	15,208
当期変動額					
剰余金の配当					△2,213
親会社株主に帰属する当期純利益					170
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					74
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39	△20	△59	△21	△81
当期変動額合計	△39	△20	△59	△21	△2,050
当期末残高	765	△21	743	143	13,158

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,019	2,009	6,738	△1,497	12,270
当期変動額					
剰余金の配当			△2,998		△2,998
親会社株主に帰属する当期純利益			1,593		1,593
自己株式の取得				△180	△180
自己株式の処分		△15		39	23
自己株式処分差損の振替		15	△15		－
連結子会社株式の取得による持分の増減		△2			△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△2	△1,420	△141	△1,564
当期末残高	5,019	2,007	5,318	△1,638	10,706

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	765	△21	743	143	13,158
当期変動額					
剰余金の配当					△2,998
親会社株主に帰属する当期純利益					1,593
自己株式の取得					△180
自己株式の処分					23
自己株式処分差損の振替					－
連結子会社株式の取得による持分の増減					△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	109	8	118	25	143
当期変動額合計	109	8	118	25	△1,420
当期末残高	875	△13	861	169	11,738

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	297	1,872
減価償却費	66	57
補助金収入	—	△29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	29	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	132
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	54	84
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	10	5
受取利息及び受取配当金	△27	△46
為替差損益 (△は益)	△4	△2
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	734	41
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△171	△155
未収入金の増減額 (△は増加)	3	△5
未払金の増減額 (△は減少)	20	143
未払費用の増減額 (△は減少)	121	536
預り金の増減額 (△は減少)	2	△9
その他	89	79
小計	1,230	2,703
利息及び配当金の受取額	28	43
補助金の受取額	—	29
法人税等の還付額	1	0
法人税等の支払額	△30	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,230	2,576
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△28	△280
定期預金の払戻による収入	92	290
有価証券の取得による支出	△6,200	△3,493
有価証券の償還による収入	6,500	2,500
有形固定資産の取得による支出	△18	△86
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
敷金及び保証金の差入による支出	—	△38
貸付けによる支出	△5	△3
貸付金の回収による収入	7	7
その他	0	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	346	△1,122
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資事業組合等における非支配株主からの出資受 入による収入	104	36
投資事業組合等における非支配株主への分配金支 払額	△165	—
自己株式の取得による支出	△0	△180
配当金の支払額	△2,209	△2,993
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得に よる支出	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,270	△3,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△705	△1,681
現金及び現金同等物の期首残高	6,245	5,539
現金及び現金同等物の期末残高	5,539	3,858

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「未払費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた837百万円は、「未払費用」250百万円、「その他」587百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「未払費用の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた211百万円は、「未払費用の増減額」121百万円、「その他」89百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであり、「ビジネスプロデュースセグメント」及び「ベンチャー投資セグメント」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ビジネスプロデュースセグメント」では事業創造支援や成長戦略立案支援を行うビジネスプロデュース事業を行い、「ベンチャー投資セグメント」では株式等への投資及び投資事業組合の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,455	728	6,183	6,183	—	6,183
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,455	728	6,183	6,183	—	6,183
セグメント利益	1,054	293	1,347	1,347	△1,090	257
セグメント資産	1,576	2,709	4,285	4,285	11,572	15,857
その他の項目						
減価償却費	39	0	39	39	27	66
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	7	—	7	7	0	7

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,090百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での営業活動に係る費用及び一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額11,572百万円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での現金及び預金、有価証券等であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース	ベンチャー投資	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,787	1,904	8,691	8,691	—	8,691
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,787	1,904	8,691	8,691	—	8,691
セグメント利益	1,967	982	2,950	2,950	△1,160	1,790
セグメント資産	1,732	2,802	4,535	4,535	11,097	15,633
その他の項目						
減価償却費	31	0	32	32	24	57
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	—	—	—	—	87	87

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,160百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での営業活動に係る費用及び一般管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額11,097百万円は各セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社での現金及び預金、有価証券等であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,479円24銭	1,323円87銭
1株当たり当期純利益金額	19円39銭	181円41銭

(注) 1 株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託に残存する自社の株式は、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。また、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2 「1株当たり純資産額」の算定上、控除した役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託に残存する自己株式の期末株式数は、前連結会計年度661,352株、当連結会計年度795,444株であり、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、控除した自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度964,600株、当連結会計年度747,995株であります。

3 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,158	11,738
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	143	169
(うち非支配株主持分(百万円))	(143)	(169)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,014	11,568
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	8,798,366	8,738,700

5 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	170	1,593
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(百万円)	170	1,593
普通株式の期中平均株式数(株)	8,784,512	8,786,321

(重要な後発事象)

該当事項はありません。